

甲州市の人や暮らしを伝える

# 甲州 らいふ

2020 vol.10 *koshulife*



わたしと甲州市。

ご自由にお持ちください

**TAKE FREE**

甲州市の人や暮らしを伝える

# 甲州 らいふ。

自然と歴史と人が  
息づくまち、甲州市。

山梨県甲州市は、日本百名山で知られる大菩薩嶺をはじめとする秩父山系の自然景観に恵まれ、ぶどうやもも、枯露柿などの果樹栽培が盛んな地域です。また国内随一のワイナリー数を誇り、世界に名だたる「甲州ワイン」も市内で多くつくられています。

『甲州らいふ』では、このまちに住む人々の暮らしや想いを伝えていきます。甲州市に来たことがある人も、これから初めて来る人も、またすでに甲州市に住んでいる人も、ありのままの甲州市を感じて、そこからあなただけの「わたしと甲州市」を見つけてください。

現地で取材をして  
いるのは…

「甲州らいふ♪ つたえ隊」

公立大学法人 山梨県立大学 [http:// www.yamanashi-ken.ac.jp](http://www.yamanashi-ken.ac.jp)

甲州 KULAS <https://koushukulas.wordpress.com>

発行元：甲州市役所 政策秘書課

制作／取材サポート：BEEK DESIGN

この無料情報誌「甲州らいふ」では、私たち「甲州らいふ♪つたえ隊」が発見した甲州市の魅力を発信していきます。甲州市を知っている人、知らない人。移住を考えている人、そうでない人。この情報誌を読んだ色々な人に魅力を伝えられたら嬉しいです。皆さん、これを読んでぜひ一度、甲州市に来てみてはいかがでしょうか？



## Contents

- |    |                                   |    |                        |
|----|-----------------------------------|----|------------------------|
| 02 | 甲州らいふについて                         | 20 | 甲州市の農業<br>矢野貴士さん       |
| 04 | KOSHU CITY AREA MAP               | 22 | 甲州市で育てる                |
| 06 | 甲州らいふを数字で分析                       | 24 | 甲州市で暮らす                |
| 08 | 甲州市の四季                            | 26 | 教えて！甲州らいふ<br>甲州市お役立ち情報 |
| 10 | Feature 甲州らいふ 特集<br>小倉家 小倉ヒラク、小野民 | 33 | 甲州市の歴史を巡る<br>vol.1 大善寺 |
| 14 | DIY LIFE STYLE                    | 34 | KOSHU × SNAP           |
| 16 | 甲州市ワイナリー探訪<br>vol.9 丸藤葡萄酒工業       | 36 | ぐるり甲州旅                 |
| 19 | WINE INFORMATION                  | 38 | 甲州らいふ 伝え隊              |



# KOSHU CITY AREA MAP

## 豊かな自然、歴史と 果樹園交流の

都心から100km圏内の甲府盆地の東部に位置し、  
住先としてはもちろん、二地域居住にもオススメ  
くて冬寒いのが特徴ですが、降雪は年に数回程度  
このページでは各地域の特色を紹介します。

### ～ 塩山 ～

**施設：**飲食店やスーパー、ホームセンターなど多くの商業施設が揃っている地域です。警察署や市民病院のほか、県立産業短期大学校、塩山高等学校などの教育施設もあり、市民の生活を支えています。また塩山駅から徒歩10分ほどの塩山温泉郷は600年以上の歴史があり、昔から「美人の湯」と言われ、なめらかな湯触りと湯冷めしにくいのが特徴です。

**交通：**JR 塩山駅には特急列車が停車します。始発電車は早朝5時から運行しており都内への通勤通学も十分可能です。

**自然：**日本百名山である大菩薩嶺は初心者から上級者まで多くの登山者を魅了するとともに、春には桃の花が織りなす塩山桃源郷の美しい景観がまちを彩ります。冬には松里地区で、枯露柿のカーテンが見られ、地域の冬の風物詩となっています。

**歴史：**塩山は甲州の鎌倉とも呼ばれ、武田信玄公の菩提寺である恵林寺をはじめ、国宝 小桜韋威鑑兜（菅田神社）など、数多くの歴史的文化財も残る地域です。



### ～ 勝沼 ～

**施設：**勝沼は国内随一のワイナリー地域。30を超えるワイナリーが集まっており、甲州ぶどうを使った「甲州ワイン」は世界ブランドとしてその名を轟かせています。年間を通してワイナリーや勝沼のシンボル「ぶどうの丘」は多くの観光客が訪れ、秋のぶどうシーズンには観光農園も大変な賑わいをみせます。

**交通：**中央自動車道勝沼インターチェンジがあり、交通の大動脈となっています。また JR 勝沼ぶどう郷駅もあり、駅から甲府盆地を見下ろすパノラマは絶景です。

**自然：**勝沼はぶどうの一大産地です。日本のぶどう栽培発祥の地でもあり、ぶどう畑が広がる原風景は四季折々に様々な表情を見せてくれます。

**歴史：**大善寺本堂(国宝)をはじめ、ワイン醸造に関する歴史館「宮光園」など、ぶどうやワインに歴史深い地域です。Library of the Year 2018(従来の図書館の在り方を示唆するような先進的な活動を行っている機関を表彰) で日本一に輝いた勝沼図書館も地域の歴史文化を今に語り継ぐ活動をしています。



### ～ 大和 ～

**施設：**笹子トンネルを抜けた甲州市の入り口、それが旧大和村地域です。道の駅甲斐大和では、絶品のお蕎麦や地域の特産品が食べられるほか、ほうとう作り体験ができます。大和レジャーセンターでは釣りやBBQが楽しめ、甲斐の国 大和自然学校では農林業体験やナイトハイクなど、都会ではできない体験学習ができます。

**交通：**JR 甲斐大和駅があり、市民生活だけでなく、上日川峠から大菩薩嶺へ向かう登山客にも多く利用されています。

**自然：**新緑の清涼な川の流れ、紅葉の暖かな彩り、四季折々違った表情を見せる渓谷美の竜門峡は、遊歩道が整備され、誰でも楽しめるハイキングコースとして人気です。

**歴史：**武田家終焉の地と言われる景德院や、臨済宗の名刹であり巨大な自然石で造られた庭園が有名な栖雲寺などをはじめ、そば切り発祥の地としても歴史があります。

# 文化に彩られた まち甲州市

電車や車のアクセスも良いため、移  
の地域です。気候は盆地特有の夏暑  
です。ですのでそれほど心配りません。



## ●教育施設数 (2020.1月現在)

- 大 学…塩山地域 (1) 県立産業短期大学校
- 中学校…塩山地域 (3) 勝沼地域 (1) 大和地域 (1)
- 保育園…塩山地域 (9) 勝沼地域 (3) 大和地域 (1) ※休園中は除く
- 高校…塩山地域 (1) 県立塩山高等学校
- 小学校…塩山地域 (8) 勝沼地域 (4) 大和地域 (1)

# KOSHU CITY

## 甲州らいふを数字で分析!

# 31,170人

甲州市の人口

(13,105世帯、2020.1月現在)

平成17年に旧塩山市、勝沼町、大和村が合併し、現在の甲州市になりました。大きいまちではありませんが、豊かな自然と優しい果実の香りに包まれ、人と人とのあたたかい繋がりを感じられるまちです。

農業従事者

# 4,000人

甲州市は、ぶどう、もも、さくらんぼ、柿などの果樹農業が盛んです。兼業専業含め4,000人近い農業従事者が年齢問わず活躍し、フルーツ王国やまなしを支えています。また山梨県や市では、新規就農応援制度を充実させ、受け入れ態勢を整えています。

※2015 農林業センサスより

市内森林面積

# 80.1%

市内のほとんどが森林という自然豊かな大地、そして登山でも県内外からとても人気の高い日本百名山「大菩薩嶺」があります。山頂からは富士山を望む絶景も。登山道も整備されているため、初心者から上級者まで安心して楽しめます。登山後には市内の温泉で疲れた体を癒すのがおすすめ。四季折々に自然が作り出す風景を毎日見ることができるのは、理想の田舎暮らしかもしれません。

※2017 甲州市森林整備計画

国宝数

# 3

(山梨県内5つのうち)

- ① 絹本著色達磨図  
(甲州市塩山、向獄寺)
- ② 小椋韋威鎧兜  
(甲州市塩山、菅田天神社)
- ③ 大善寺本堂  
(甲州市勝沼、大善寺)

甲州市は歴史的に武田家と深い関わりがあり、名刹恵林寺は信玄公の菩提寺としても有名です。

新宿まで電車でも車でも

# 約90分

都内までもあつという間! 二地域居住やテレワークにもオススメな地域です。塩山駅を始発電車に出発すれば8時間前には新宿駅に到着! 乗り換えも少なく、座ったまま快適に通勤通学可能です。また市内には中央自動車道勝沼ICがあり、東京・神奈川・埼玉・静岡・長野などの近隣都市へもアクセス抜群なため、ちょっと足を延ばして県外へ日帰りレジャーなんてことも容易です。

※電車は特急電車、車は高速道路使用の場合

# ANALYZED BY NUMBERS

実際、甲州市はどんなところかを数字で分析してみました。数字で見えてくる、まちの輪郭・特色をご紹介します。

**38** **ワイナリー数  
市内**

甲州市は国内随一のワイナリーが集まる地域です。世界に誇る「甲州ワイン」も市内で多くつくられおり、年間を通して多くのワインファンが訪れます。甲州市に来ればきっとお気に入りの一本が見つかるでしょう。

**74.72** **歳** (男女平均)

**山梨県は健康寿命\*日本一!**

**男性は73.21歳で第1位! 女性は76.22歳で第3位!**

- がん検診や特定健康診査の受診率が高く、県民の健康意識が高い。
- 60歳以上の有業割合が全国2位と高く、元気に働き続けている高齢者が多い。
- ボランティア活動や無尽\*への参加など、社会との交わりや豊かな人間関係、健康に留意した規則正しい食生活\*などが要因として考えられています。

※健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。

※無尽とは月1回程度、特定のメンバーで集まって食事や飲み会をする山梨独特の習慣。

※甲州市では市民の心身の健康増進のため、「塩山式手ばかり」や「食育カルタ」などを活用した小児期からの食育(食生活に関する教育)を推進しています。

**0**

**待機児童数  
ゼロ!**

産前産後からママに寄り添った子育て支援や、第2子以降の出産祝い金、高校生の入院医療費助成など、子育て支援制度が充実しています。待機児童はゼロなので、じっくり保活して子供の入園先を選択したり、お母さん自身もライフスタイルに合わせて職場復帰することが可能です。

**1** **台** **1人** **が当たり前!?**

山梨県は3人に2人が自動車を所有\*していますが、免許を所有している世代に限れば、ほぼ1人1台所有と言っても過言ではありません!田舎は都会のように公共交通機関が充実していないので、車があった方が便利な生活が送れます。

※自動車検査登録情報協会公開の都道府県別の自動車保有台数

**帰宅時間**

**18時21分**

**アフター5も充実!**

山梨県の有業者の平均帰宅時間は18時21分で、全国第6位の早さ!通勤時間も短いことから早めに帰宅でき、趣味や休養だけでなく、夫の育児参加などにより共働きしやすいなどのメリットもあります。なお山梨県の共働き世帯は全体の54.1%と全国平均48.8%より高くなっています。

※総務省統計局「平成28年社会生活基本調査」

# The Four seasons

## SPRING



慈雲寺の「イトザクラ」や、JR勝沼ぶどう郷駅周辺の「甚六桜」など市内の各所に桜が咲き誇ります。また塩山エリアでは、桃の花がピンクの絨毯のように広がる景色を見ることができます。

- 4月12日 恵林寺 信玄公忌「しんげんさん」
- 4月中旬 大菩薩山開き「介山祭」
- 4月18日 向嶽寺秋葉神社大祭「あきやさん」
- 4月29日 放光寺大黒天祭り
- 4月第4日曜日 甲州市ふるさと武田勝頼公まつり
- 5月8日 大善寺 藤切り祭り(関東三大奇祭)



約1,300年前の行者の大蛇退治に由来します。5メートルの高さから切り落とされる大蛇を形どった藤つるを参拝者が奪い合う勇壮な祭りです。藤つるを持ち帰ると、無病息災・開運ご利益が得られると言われています。

- 5月中旬 大菩薩トレッキング「新緑編」

- 10月第1土曜日 甲州市 かつぬまぶどうまつり



豊作への感謝として開催されるぶどうまつり。爽やかな秋空のもと、来場者にはぶどうやワインが振舞われ、多くの観光客で賑わいます。

- 10月上旬 大菩薩トレッキング「紅葉編」
- 10月第3日曜日 甲州フルーツマラソン大会
- 10月第4日曜日 甲州市およっちょい祭り
- 11月上旬 かつぬま新酒ワインまつり
- 11月上旬 武田陣中ほうとう祭り

山々や渓谷、勝沼のぶどう畑など、市内の各所に広がる赤や黄色の紅葉の景色、秋から冬にかけては塩山松里地区の枯露柿のカーテンも必見です。



## AUTUMN



# SUMMER

6月30日 菅田天神社 禊(みそぎ)祭り

茅の輪をくぐると身が清められ、暑い夏を無事に越すことができるとされることから「夏越祭り」とも言われています。



もも狩り、さくらんぼ狩り、ハイキング、キャンプや釣りなど多くのアクティビティが夏の甲州市にはあります。大菩薩嶺の新緑や竜門峡の青く澄んだ溪流など、美しい自然とふれ合い、清涼な空気に癒されてみてください。

古くから伝承される地域の行事は一見の価値あります。地域の伝統を知ること、より地域に馴染むこともできます。またこの時期玉宮ザゼン草公園では春の訪れを告げる「ザゼン（座禅）草」の群生地などを散策できます。散策後に市内の温泉でほっこり温まるのもおすすめです。

- 1月14日 藤木道祖神太鼓乗り
- 1月中旬 田野十二神楽(県指定無形文化財)
- 1月中旬 一之瀬高橋「春駒」(県指定無形文化財)
- 2月11日～  
4月18日 ひな飾りと桃の花まつり

早春の訪れとともに、春花が咲き誇る季節にかけて重要文化財「甘草屋敷」を彩るひな飾り。江戸・明治・大正・昭和時代のひな人形や、つるし雛がところ狭しと並ぶ様子は圧巻です。



# WINTER



# Inter view

「わたしと甲州市。」

# OGURA FAMILY

ONGOURA  
TAMIRAKU

Fermentation designer /  
Editor&Writer

2016年に東京から甲州市の神金地域に移住してきた小倉さん一家。偶然の出会いや、人と人との繋がりがこの地域に来るきっかけになりました。お互い忙しく働中、子育てや暮らしの基盤をどうやって作っていったかを聞いてみました。



**小野民さん** 1984年生まれ。東京都出身。2歳から高校卒業まで宮城県で過ごす。明治学院大学社会学部卒業後、農山漁村文化協会に就職し、日本全国の農家を巡る。その後2012年にフリーランスの編集者として独立し現在に至る。

 Reporterは…

川崎かな子 (県立大学4年生)

鶴田有紀 (県立大学4年生)



**小倉ヒラクさん** 1983年生まれ。東京都出身。早稲田大学文学部卒業後、スキンケア会社勤務や合同会社起業、東京農業大学醸造学科研究生などさまざまな経験を経て2014年に発酵デザイナーと名乗るようになり、発酵醸造メーカーのアートディレクションやアニメ・絵本等の制作を手がけた。現在は東京・下北沢に発酵をテーマにした会社の立ち上げを準備中。



甲州市に移住するまで。

小倉さんが山梨に初めて訪れたのは10年前のことでした。当時勤めていたスキンケア会社の会報誌を「発酵」をテーマに制作することに。同僚の制作メンバーに甲府市の老舗味噌屋『五味醤油』の娘さんがいて、彼女が「発酵のことを聞きに実家のお兄ちゃんに会いに行きましょう」と言って、山梨に連れていかれたのがきっかけだそう。山梨での仕事や移住することになる全てのきっかけは五味兄妹との出会いでした。

「五味醤油を訪れて、兄の仁さんとも意気投合し、3人で頻繁に交流するようになりました。僕は26歳のときにデザイナーとして独立して、それから五味醤油のデザインの仕事や、仁さんと発酵のイベントやプロジェクトをやるように。だから20代半ばから後半にかけて、山梨にいたことが多くなって友達も増えました。だんだんと東京で遊ぶより山梨で遊ぶことがおもしろくなってきて『もういい加減移住しようかな』と思いましたね」

仕事で様々な地方に行っていた小倉さんは、引っ越しを決めた際に他の地域からも移住しないかと声がかかっていたそうです。

「いろいろな地域で仕事をしていたので、すでにコミュニティが出来上がっているところから移住しないかと声をかけてもらっていて、でもすでに土壌が出来上がったところに行くのは波に乗るような感じがしてつまらないと感じたんです。山梨はコミュニティもまだ発展途上で『ここでみんなとフラッグを揚げよう』みたいに考えたのを覚えています」



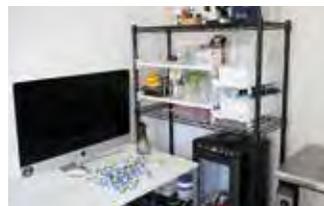
O  
G  
U  
R  
A  
H  
I  
R  
A  
K  
U

## 発酵を切り口に文化や暮らし、まちを見る

現在『発酵デザイナー』として活躍されている小倉さん。前述したように、五味醤油さんとの仕事で『手前みそのうた』のアニメを作ったり、発酵の物産展や食育プログラムを開催するうちに、様々な地域の醸造家ともつながり、発酵に関する仕事が増えていきました。小倉さんが「せっかく山梨に行くんだったら普通のデザイナーではなくて、微生物や発酵に特化しよう」と思った矢先、毎日新聞の記者さんに『発酵デザイナー』という名前を命名され、そこからこの唯一無二の肩書きを名乗るようになりました。

「僕が甲州市に移住したら日本全国から仕事仲間や友人が訪れてくれるようになったんです。五味さんが発酵おもしろいよねと発信していたり、山梨の醸造家の横のつながりや、暮らしやローカルを発信するメディアの方々も多いです。僕たち目線で見ると山梨が、そういったメディアで『発酵のまち 山梨』として発信され、既成事実がどんどん出来上がっていきました。でも実際に行政の人が直接言っているわけではないし、こんなふうに全然関係ない力学によって無から有を作るみたいなブランディングがされていくのが楽しいと思います。僕はそもそも頭になかったことが状況によって作り出され、それが自走していく仕組みに立ち会ってコミットする方が好きなんですよね」  
小倉さんの今の仕事は発酵を通じて、コミュニティを形成したり、文化の再発掘にまで及んでいます。今住んでいる甲州市の家は、奥さんの民さんが見つけて決めたそうですが、当時は建物の痛みが大きかったそう。

「妻が『ここがいい!』と見つけてきました。5年くらい空き家になっていたみたいで家の痛みが大きくて、これはもう自分で直すしかないなと思いましたね。家を購入して妻



が出産で里帰りしていた数ヶ月は、家の中にテントを張って生活しながら改修を続けました。当時は毎朝5時に起きて、10時くらいまでDIYしてから仕事するみたいな生活だったかな。住みながら少しずつ家族が暮らせる状態まで、できる限りDIYで手を入れ直して、できないところや技術が必要なところはプロの手を借りて改修しました。今住んでいる神金地域は標高がだいたい800メートル。せっかく東京から田舎に来たから、このくらい山奥なのも良かったし、近くにバス停もあり自家用車もあるので移動の不便さは最初から感じなかったですね」  
大変そうに思えることも、小倉さんばだってやるしかないしね」と言っている静かな強さがありました。仕事も暮らしも、自分たちでできることを大事にしています。そんな小倉さんに甲州市の魅力を聞いてみると、『斜面がたくさんあること、そして特徴的な景観であること』を挙げてくれました。  
「斜面がある分、水はけがよくて果樹を育てるには良い環境。山が紅葉して、そこにぶどう畑も紅葉すると様々な色のグラデーションができて綺麗。僕は日本中の地域に行ってるからわかるけど、甲州市は特徴的な景観をしているんですよ。針葉樹の森や竹林が少なく、かつ岩がゴツゴツして果樹園が広がっている。僕が昔住んでいたフランスの景色と似てるんですよ。そのなかにお寺もあるから特徴的な景色になって、とてもおもしろいですね」  
小倉さんの目には、唯一無二の場所として甲州市が映っていました。

子育て世代にこそ、この地域に住んでほしい

現在フリーランスで編集・ライターのお仕事をしながら子育てをしている民さん。お子さんが生まれる前に民さんが小倉さんと一緒に住んでいたのは東京都三鷹市でした。三鷹は子育て世代に人気のエリア。人口が増えるとともに、保活(子どもを保育園に入れるために保護者が行う活動)が熾烈になっていると聞くようになりました。その際に民さんは「保活はしたくない。そのエネルギーを使うのなら別のところに使おう」と思い、当時微生物の研究に良い環境を求めている小倉さんと意見が一致し、塩山に移住を決めました。三鷹と塩山は同じ中央線上にあるので、移住というより沿線に引っ越した感覚だったそう。移住に際し、民さんにとって心強かったのは働きながら子育てしてきた母や義母のバックアップ、甲府の五味醤油さんご家族など何か困ったら助けてくれる人の存在でした。そして育児の手助けとして子どもを預かってくれる甲州市のファミリーサポートセンターの制度も頻繁に利用。保育園の入園申込みに関しても、都会では10数ヶ所もの希望施設を書くような状況の中、甲州市では第3希望までしか記入欄が無く、職員からも「第1希望にきっと入れますよ」と声をかけられ、とても安堵したそうです。お母さんたちが子育てと仕事の両立で悩んでいる中、保育の部分が少しでも安心できることはとても



大きな支えになります。保育園の保護者も移住者が多く、一緒にご飯を食べたり旅行に行ったりなど、移住者同士のコミュニティができていくんだそうです。塩山の山奥の地域に住みながら働くことも「ぜんぜん不便だと思ったことないんです」とあっけらかんと言います。家の前にはバス停があり、駅にいけば特急電車にも乗れる環境が便利だと感じているそうです。「電車の本数が限られている分、逆に仕事が組みやすく、否応なくワークライフバランスが整う」と民さん。「環境的にも諦めがつくんですね。子育ても仕事も頑張ろうと思えばいくらでも頑張れたり無理できたりすることだけど、都会から距離があることによって仕事と暮らしのバランスが保たれてるのかなと思います」塩山の神金地区のなかでも、民さんたちが住む地域は移住者が多い地域。移住者の受け入れに対して地域の人たちがとてもあたたかく、移住しやすい地域だと言われています。また、地域に高齢者の方も多くいる中での子育ては発見が多いそうです。「近所の方も子どもの成長をみんな楽しみにしてくれてるし、子どもに会うとみんな嬉しそうにしてくれるから集落に子どもがいるというのは自然に笑顔が増えることなんだなと思いました。集会の時も小さい子が一人いると、場の雰囲気はぱっと明るくなります」民さんに今後の地域に求めることを聞くと、この地域の子どもたちが減っていったらほしくないと教えてくれました。「甲州市のなかでも不便だと思われる地域だけど、子育て世代も多く移住してきてほしいんです。不便で住む人がどんどんなくなっていくと言われるけど、わたしたちみたいに見方を変えれば環境もいい暮らしやすい地域。そう思う人が増えて子どももこの地域が増えていったらいいなと思います」

ONOTOAMI



# DIY LIFE STYLE

田舎暮らしをしようと古い家を見つけて移住を決めても、そのままでは住めないケースもしばしば。実際小倉さんの家もそのままでは住めなかったので、自分たちで費用をおさえたDIY（自主改修）で手を加えました。その一例やポイントを紹介します。



リビングの空間を広くさせたこともあり、石油ストーブで暖かくするのにも限界があったため、2018年の冬からペレットストーブを導入。こちらは中古を譲り受け、甲府の「笹本環境オフィス」さんに搬入、設置をお願いしたそう。



リビングにある本棚は全て自作。リング箱を使ったり、上部の棚はDIY。材料は近くのコメリで買い揃えたそう。「なんでもまずはやってみようというマインドが大事」と小倉さん。



襖で区切られていた二部屋の衝立を壊し一部屋へと。テーブル側の天井は抜き、部屋に開放感を出すことに成功している。お子さんが生まれる前の引っ越し当初は、小倉さんが家の中にテントを張りながら作業した。



台所の床もレトロな柄のクッションフロアに張り替えた。こちらは toolbox（ツールボックス [www.r-toolbox.jp](http://www.r-toolbox.jp)）のオンラインショップで購入。切って、貼っての作業で、床の角の部分などは、切った場所の柄を合わせるのに苦労したそう。



リビングも全面床材を取り替えた。小倉夫婦の共通の知り合いが岡山県西粟倉村で木材の販売をしていたので、そこから取り寄せたそう。大きな板として届き、それを自分で使うサイズにスライド丸鋸を使ってカット。その後、その板を床に敷くのも自身で作業した。



とたんがむき出しだった2Fの天井には断熱材を入れてふたをして、合板を赤く塗る。近所の大工さんに教えてもらいながら作業を進めたそう。できそうなところは自分で手を動かし、プロの技術が必要なところは大工さんに頼んだ。



もともとお蚕さんを2階でやっていたスペースは、綺麗に整理してお子さんの部屋に。梁はそのまま生かした。家の改装は、長年たまったほこりを片付けることと、前の人の暮らしの痕跡を消すことが大変だったそう。

東京にいた頃も多少DIYはしていたが、スキルはほぼ素人。「誰にも迷惑かからないし、長いスパンで直していく根気があれば大丈夫」と語る。



外見を赤く塗り、足場を知り合いの工務店に頼んでもらい腐食していた屋根も改修。家族だけでは作業量が大変だったので、友人などを誘ってワークショップのようにして共同作業も。ウッドデッキも小倉さんが自分で組み、雨戸や冊子は業者に依頼して取り替えた。まだまだ手を加えたいところは多くあるそうで、家族で暮らしながら気長に進めていく。

# 甲州市 ワイナリー 探訪 *Koshu city winery report*

甲州市には実に多くのワイナリーがあります。醸造家の日々の営み、この土地への想いを聞きに、学生たちと一緒に訪れました。

vol.9 丸藤葡萄酒工業

丸藤葡萄酒工業株式会社は明治23年(1890年)創業、親子4代にわたりワイン造りに取り組んでいる老舗ワイナリーです。ブランド名である「ルバイヤート」は昭和31年に詩人である日夏耿之介さんから命名され、60年以上歴史を築いてきました。自社農園では勝沼の伝統品種である「甲州」をはじめ、欧州系品種カベルネ・ソーヴィニヨンやプティ・ヴェルドなどは、日本でも普及してきた垣根式で栽培しています。1988年から開催されている蔵コンやリノベーションされた新社屋など、お客さんがワインにより親しめるような試みもされています。今回は4代目社長の大村さんにお話を伺いました。



Reporterは...

川崎かな子(県立大学4年生)  
藤本かおり(県立大学2年生)



## PROFILE

丸藤葡萄酒工業株式会社 大村春夫さん

創業130年目を迎えたワイナリーの4代目社長。東京農業大学農学部醸造学科卒業後、国税庁醸造試験所、フランスボルドー大学での研修を経て、1977年に帰国後、家業であるワイン造りに本格的に関わる。

川崎 大村さんは歴史あるワイナリーの4代目ですが、家業を引き継ぎご自身で開拓してきたことを教えてください。

**大村** 僕はフランスのボルドーに留学していたんですが、そこで覚えてきたことがあって、それはダブルパージュという醸造方法です。白ワインを造るとき、ぶどうを搾ったジュースを一晚放置して上澄みが発んでくると、底に重い沈殿物が溜まるので、その上澄みだけを取り出して発酵させる方法です。果汁をきれいにしておくと、発酵がゆるやかになり、香りも高くなります。そういうことは中小ワインメーカーの中ではいち早くやっていたんですね。メルシャンさんがシュールリー製法で造った東雲甲州シュールリーというワインを1984年に発表

したのですが、それを飲んだ時に「甲州ぶどうでこんなに美味しいワインができるのか」と驚きました。うちでも1988年からシュールリー製法を始めたのですが、ダブルパージュ法を行っていたことによってスッと入っていきやすかったということはありませんね。あと当時まだ出回っていない、乾燥酵母を東京の商社から取り寄せいち早く使っていました。

川崎 日本では当時、まだ珍しかった垣根式によるぶどう栽培もいち早く取り入れたのですよね。

**大村** うちは今年で130年目のワイナリーなので今から32年前ですね。あと2年で100年目という時でした。当時の日本のワインは脆弱で、関税を高くして日本ワインは海外からの輸入



ワインから保護されていました。しかし海外からは日本の輸入関税を安くして欲しいという要望が寄せられ、車や家電品、コンピュータなど日本製品をたくさん海外に輸出しているので政府も抗いきれず、ワインの関税を下げざるを得なかったんですね。それによって、世界中から日本市場に海外のワインが雪崩れ込んできました。海外の価格の安いワインが大量に輸入されたら、日本のワイナリーは立ち行かなくなるんじゃないかと僕は思い、あと2年で創業100年だから何とか100年までは続け、それで駄目なら諦めようという気持ちでおりました。でも辞めるのはいつでもできるので悔いを残さぬようにしようと垣根栽培に挑戦しました。棚栽培が盛んな日本ではそれまで垣根栽培はあまり試みられておりませんでした。交配品種を植える試みはされておりましたが棚栽培中心でした。うちはマンズワインさんと関係があったので、マンズワインさんのレインカット（雨除け）を採用して、カベルネ・ソーヴィニオンを植えた経緯があります。それでだめだったらやめようと思っていましたけど、垣根で造ったら2,3年目がよくて。それからまた苦労するんですけどね。その畑でマンズワインの担当者さんに来てもらって、うちの中堅どころの人たちに向けて垣根栽培の剪定講習会を開いたりしました。

川崎 ワイナリーが時代とともに、変化していったところがありますか。

**大村** 時代とともに製造技術が格段に進歩したと思います。インターネットのおかげで知識や情報を早く得ることができずし、海外に留学して帰ってきた若者たちもいっぱい増えてきて、そういうところで見聞きしてきたことが共有されてきたと思います。それから何よりやっぱり本質はぶどうですよ。よいぶどうを作ることは最大のテーマです。昔は適地適作という言葉の意味をよく解っていませんでした。背伸びして作ったぶどうはやはりどこかで破綻するんですよ。長い歴史の上で生き残ってきたということは大事なんです。自然に作られたぶどうが生き残る。例えば糖度が低くても甲州ぶどうが生き残っているのは病気になりにくいからだだと思います。シャルドネとかソーヴィニオン・ブランは傘かけやビニール掛けをしないと健全なぶどうが収穫できないので、エネルギーが要ります。なかなか僕らも大変だと思っていますよ。

川崎 ワインはどのくらいの本数をつくっているのですか？

**大村** 年間総生産本数は720ml瓶で17万本位です。甲州種が主力ですね。甲州種がおそらく全体の半分くらいです。残りは赤

ワインのマスカットベリーAやカベルネ・ソーヴィニオン、メルローなどいろいろなぶどうがあります。プチヴェルドは他のポルドー種に比べ栽培しやすい品種で、プチヴェルド100%でコンクールに出したら3年連続で金賞をもらえたので面白さを感じています。藤本 大村さんが思うワイン醸造のお仕事におけるやりがいを教えてください。

**大村** 最大のやりがいは小さなメーカーでも生き残れるということですよ。80年代、僕が東京に荷物を運んでいたときにコックドールさんというレストランと取引があって朝7時に納品に行くんですよ。そのお店にはパンとかクッキーを製造する部門があるんですけど、小麦粉と卵と砂糖があれば一年中いつでも試験ができて羨ましいなと。ワインは年に一度しか造れないじゃないですか。だからいつでも作れるパン屋さんとかクッキー屋さんがいいよなあなんて思っていました。その時たまた





まソニーがウォークマンを発売して。ウォークマンっていいな、一個、型ができると何万個も同じものができるので羨ましいなと思っていました。で、大ヒットしたんですよ。だけどちょっと待てよ、こういう機械類って分解されたらすぐ真似されちゃうよね、って。もの見事にそれが今はiPodなど他社のものになったわけですよ。だから思い直して「俺、ワイン屋で良かった」と。農作物を加工する職業なので小さなメーカーでも生き残れる。そういうのが、やりがいにつながっていると思います。あとはやっぱり、ワインを飲んで美味しかったって言葉を聞くときが一番嬉しいし、やっていてよかったと思いますね。

**藤本** 長く続けていくことは嬉しいことも大変なことも持ち合わせていますね。これからの大村さんの展望があれば教えてください。

**大村** 今、ワイナリーが全国で300社あまりに増えました。つくる会社が増えた分、ワイン業界は競争が激しくなってきた感じがします。そのなかで、私は量をたくさんというよりも淡々と美味しいワインづくりをしていこうと思っています。少子高齢化、若者のアルコール離れということもあり、ワイン、酒全般が昔より売れなくなっているんですね。そのなかで生き残っていくためには、たくさん売ろうとい

うより少量生産でも成り立つ方向を探るしかない。ワイナリーに来た人たちにも、また行きたいねって思ってもらえるようなワイナリーになっていかないと生き残れないかもしれません。うちの若い連中にもよく言うのは「ボトルとお金の交換だけのワインの商売はやめような」と。もうちょっと商売に関わるいろいろなことに付加価値を感じて買ってもらうことが大事だと思ってい

ますね。

**藤本** 未来を見据えてこれからも変わっていくかもしれませんね。では最後に甲州市について、感じることを教えてください。

**大村** 山紫水明で歴史文化に富んでいて、住民の人情も厚いと思っています。県外の人たちから、山梨県の人って排他的だってよく言われるんですよ。そんなことはないと思いますけどね。そして、ぶどう畑がこれだけある市も珍しいと思います。ぶどう、もも、さくらんぼ、柿などいろいろな果物があるので、そういう点は住んでいる人からしたらぶどうかもしれないが、外から見たら素晴らしい資源だと思いますよ。山梨は果物



王国ですからね。こんなに首都圏に近くてワイナリーが多く集まっていて、他にはない魅力がある場所は稀だと思いますよ。

#### 丸藤葡萄酒工業

●山梨県甲州市勝沼町藤井780 TEL 0553-44-0043 9:00~16:30  
無休(年末年始を除く) <http://www.rubaiyat.jp/>



## 市内のワイナリーイベント



出典:各ワイナリーのHP

イベント名	日程	ワイナリー
シャトー勝沼ワインフェスタ	5月第2日曜日	シャトー勝沼
奥野田ワインガーデン	7月上旬	奥野田葡萄酒
ロリアンワイン祭り	9月中旬	百合醸造
マンズワイン勝沼ワイナリー 感謝祭「ワインまつり」	11月3日	マンズワイン

## 市内のワイン関連イベント

出典:甲州市役所観光商工課 ワイン・商工振興室

イベント名	日程
塩ノ山ワインフェス	4月中旬
甲州市かつぬまぶどうまつり	10月第1土曜日
甲州フルーツマラソン大会	10月第3日曜日
かつぬま新酒ワインまつり	11月3日
ワインツーリズムやまなし	年2回(春・秋)



※ここで紹介するイベントは、定員制のものや申し込み・参加料が必要なものが含まれています。参加を検討される場合は、必ず事前にご確認ください。

## 甲州市のワインが飲めるおすすめレストラン



ショップ名	住所	電話番号
古壺(甲斐ワイナリー併設)	山梨県甲州市塩山下於曾 910	0553-32-2032
レストラン鳥居平	山梨県甲州市勝沼町菱山 4729	0553-44-3080
甲州完熟屋	山梨県甲州市塩山赤尾 671	0553-39-9651
レストランシャンモリ	山梨県甲州市勝沼町下岩崎 1453	0553-44-5556
エリソン・ダン・ジュール	山梨県甲州市勝沼町中原 5288-3	0553-39-8830
風	山梨県甲州市勝沼町下岩崎 2171	0553-44-3325
勝沼食堂パパスロッセ	山梨県甲州市勝沼町菱山 3577-6	0553-39-8763
ぶどうの丘 展望ワインレストラン	山梨県甲州市勝沼町菱山 5093 ぶどうの丘	0553-44-2111
カフェ カーサ・ダ・ノーマ	山梨県甲州市勝沼町勝沼 3181	0553-44-5233
ビストロ・ミル・ブランタン	山梨県甲州市勝沼町下岩崎 2097-1	0553-39-8245
グリル&ワイン	山梨県甲州市塩山上於曾 1761-4	0553-32-4122
フレンチダイニング竜	山梨県甲州市塩山赤尾 595-1	0553-39-8668

## 甲州市のワインを数多く揃えている

### ぶどうの丘

甲州市内のワイナリーのワインのみを約 200 銘柄取り揃えています。地下のワインカーブでタートファンを購入し、ソムリエ気分でワインの試飲ができます。お気に入りのワインを見つけてみては。

住所: 甲州市勝沼町菱山 5093  
電話: 0553-44-2111



Talk by

矢野 貴士

Takashi Yano



2010年に福岡から甲州市勝沼に移住し醸造用ぶどうを栽培されている矢野さん。一度も訪れたことのなかった山梨へ移住を決意し、自分の生活より畑を優先してきて早10年。真摯にぶどうと向き合う矢野さんに就農の苦労や醸造用ぶどうへのこだわりなどをお聞きしました。



Reporterは…

藤本かおり(県立大学2年生)

川村春乃(県立大学4年生)

**川村** 移住する前は福岡でホテルマンをされていたとお聞きしました。どのような経緯で甲州市で醸造用ぶどうの栽培を始めたのですか。

**矢野** ホテルマンになる前にイタリアンレストランで働いていたので、イタリアワインに興味をもち始めたのが入り口ですね。イタリアワインは土着文化があってワインと食文化の関係性が強いんです。それからだんだん国内に目を向けていったときに甲州市に「甲州」という地場品種があるのを知りました。日本では、長い時間をかけてそ

の土地に根づいてきたぶどう品種があるのって甲州市勝沼だけなんです。だから自分は勝沼からスタートしたいと思って、他の産地にはまったく目を向けずにピンポイントで来ました。

**川村** ぶどう栽培の勉強はいつから始めたのですか。

**矢野** 勝沼に来てからですね。昔から本から学ぶより実際に経験して身につけるほうが得意だったので、やっていくうちにどうにかなるだろうと思っていました(笑)。最初は飲食店で働きながら何もわからない状態で畑を借りて、そ

こからはずっと必要に駆られて調べて作業して、という感じですね。無計画といえは無計画なんですけれど、やりたいことだけをずっとやってきた感じです。

**川村** 甲州市の就農支援制度を利用されたそうですが、どうでしたか。

**矢野** たまたま最初に借りた畑の両隣がアグリマスター\*に登録されている方で、「本当にぶどう栽培を商売にしているのであれば、きちんと勉強しなければだめだ。支援制度を利用してうちに勉強しにければいい」と言ってくださったのがきっかけですね。支援制度は最長3年間利用できたのですが、僕は1年間しか使いませんでした。早く自分が思うペースで仕事したい、自分の力だけで生活していきたいという思いもあり、また助成金も出るので自分にとって甘えな気がして。そういう気持ちもあって1年間で卒業しました。アグリマスターとは卒業後も関係性は続いていて、いろいろな面でサポートしていただいていますね。



**川村** 就農支援制度を卒業された後は順調に進んでいきましたか。

**矢野** 順調ではありませんでした。ぶどうは1年に1回しか収穫できないので、最初3年間必要経費が掛かるけどお金は入ってこない状況でしたね。日中は飲食店で働き、お店に行く前と後で畑に行く生活を送っていました。ある年は収穫が皆無という品種もありました。収穫予定の1、2週間前に腐りだして1つも収穫できませんでした。農業一本でやっていくのに5、6年くらいはかかりましたね。

**川村** 苦労がととも多いのですね。栽培しているぶどうはどういった品種があるのですか。

**矢野** 面積的に大きいのは、「甲州」「デラウェア」「ピノタージュ」「マスカット・ベリーA」「ピノ・ノワール」です。生食用はやっていないので全部醸造用です。

**川村** 矢野さんの仕事の年間スケジュールはどのような感じですか。

**矢野** 1月～3月まで剪定、3月末～4月末くらいまで誘引、結果母枝、5月～7月には新梢を誘引し、傘かけをして8月の盆過ぎ～9月末まで収穫。終わったら施肥をして剪定を待つ感じですね。10月後半～12月は僕の場合、そんなに作業はないですね。5月～8月はほかの予定が何も入れられないくらい

い畑にかかりっきりになりますね。

**藤本** 栽培する醸造用ぶどうのこだわりを教えてください。

**矢野** 生食用のぶどうではよく使っている、粒を大きくしたり着色をよくする栄養剤の葉面散布剤を極力使わないようにしています。ワインはヴィンテージがつくじゃないですか。ヴィンテージはその年のぶどうが収穫されるまでの気候、風土、景色を表現するものだと思います。そのためそこに人為的なトッピングみたいな薬剤を使うのは少し違うと思うんです。なので僕は使わないですけど、使わないことが正解なのかはまだわからないですね。手間をかけるけどやりすぎない、というライン引きが難しいですね。天候不順の中で葉面散布剤などを使わないアプローチで何ができるかは毎年模索しています。僕は飲食から入ってきて時間と手間をかけて丁寧に仕事をする料理人を見てきたから、栽培においても手取り早くゴールまでいこう、糖度を上げよう、着色を進めようみたいなのは違うんじゃないかなと思って。感覚的かもしれないですけど、時間と手間をかけてきたぶどうは発するものがあると思うんですよね。そうやってできたワインを飲む方にも何かしら感じてほしいから、時間はかかるけど近道はしないことは最初から決めていました。

**藤本** 昨年から矢野さんもアグリマスターになられたとお聞きしました。

**矢野** そうなんです。これから農業に携わる人にも、僕がやってきたように近道はしない、時間はかかるよ、ということは伝えていきたいですね。手間はかかるし、やることも多いけど、きっと1年に1回収穫できる日が来るし、それに向けて地道にやっていくしかないと思うんですよ。

**藤本** 今後の目標を教えてください。

**矢野** 醸造用ぶどうだけで生活していくことを体現できたらいいなと思っています。醸造用もちゃんとやれば生活は成り立っていく、生きていけるという前例になり、それが今後甲州市のぶどう畑が広がる景観を守っていくことにもつながるのかなと思っています。

**藤本** 最後に、甲州市に移住を考えている方にメッセージをお願いします。

**矢野** 東京とアクセスもいいし、静かでいいところです。ここでしか見られない甲府盆地の風景や夜景もすごくきれいで、畑から帰ってくるたびに甲州市に住んでよかったなって思います。都会では味わえない日常ですね。でも都会と違って車がないと何をするのにとても不便だから車は必須です。また、僕みたいに生活や人生を大きく変えて移住しようと考えている方は、覚悟をもって決断、行動することが必要かなと思います。

## 矢野さんも利用した新規就業者に対する市の支援 甲州市就農定着総合支援制度

新たに就農を志す方に対し、アグリマスター®や地域の農業者グループが、栽培技術、経営管理の習得、農地等の確保、地域住民との人間関係形成など、新規就農者が持つ課題の解決を伴走支援します。

※新規就農者の育成に高い見識と能力を持ち、かつ十分な研修環境を提供できる農業者のこと

### 制度利用の大まかな流れ

- 就農プログラムの選択(1ターン型、Uターン型、兼業型)
- 準備研修(農業を職業としていけるかどうかをご自身で事前に見極めます)
- 面談(面談を通して、研修生としての受け入れを決定します)
- 就農計画作成(就農までの計画作りを行います)
- 実践研修(原則1年間)

ウェブから確認はこちら→

【市役所相談窓口】 農林振興課 ☎ 0553-32-5092



# 甲州市で育てる

甲州市に住んでいて実感するのが子育て環境の充実です。地域や行政のサポートもありますが、実際にどのような子育て環境になっているのでしょうか？ここでは、幼児から小・中学生世代の子どもを持つ子育て世代のママに、リアルな口コミを聞いてみました！



出産前後でも  
手厚いサポートで  
安心できた！



1歳の娘を  
育て中

兩宮瞳さん



甲州市は行政の子育てサポートが非常に充実しています。サポートは子どもが生まれる前からあり、自然と子どもと月齢が近い親子同士で交流できました。

なかでもおすすめは毎週金曜日に保健福祉センターで開設される「ほっとスペース」という、生後すぐの赤ちゃんから通える親子のための場所。助産師さんが常駐しており、子育ての悩みなどすぐに相談できるのも心強かったです！初めての育児はとにかく大変でしたが、「金曜日にほっとスペースでみんなと会える」と心待ちにしていました。「ほっとスペース」は赤ちゃんが生後5カ月になるまで通えるので、ぜひ利用してみてください。

他にも「子育てサロン」や「子育て支援センター」、保育園の「園庭開放」など、毎日お出かけできるほど子ども向けの施設が充実。安心して子育てできる環境が整っているため、甲州市に住んでよかったと感じています。

子ども向けの  
イベントが  
盛りだくさん!



10歳と7歳と  
3歳の子どもを  
育て中

三森 繭子さん



市や地域が主催の子ども向けのイベントが充実していて、休みの度にさまざまなイベントに参加しています。例えば小学校が夏休みの時期などは工作の宿題を兼ねた「木工教室」がありとても助かっています。実際に木と触れ合って工作する子どもの姿に成長を感じます。「休み明けはみんなの工作を見るのがとっても楽しみ!」という声も。

また、甲州市立図書館でもさまざまなイベントを実施しています。なかでも小学生から参加できる勝沼図書館の「カムカムクラブ」では、図書館巡りや司書体験、地域探索やアニメーションなど、年間を通して活動しています。子どもたちは、学校以外のお友達との交流、学校では経験できない月に1回の活動を楽しみにしています。こうしたイベント情報は学校や保育園からのお知らせや、市の広報誌などに記載されています。我が家では広報とチラシを子ども達と読みながら「次は何のイベントに行こうか?」とワクワクしています。



子育てを通して  
地域と深く  
関わられる!



甲州市に住んでいると子どものためのイベントや地域活動が多くあります。子ども同士のつながりを通して大人同士の知り合いの輪が広がることもあるのでとても面白いですよ。例えば甲州市に住んでいる子どもたちは「育成会」と呼ばれる地域の子どもクラブに参加します。レクリエーションや小旅行、親睦会などの活動を通じて子ども達も地域に馴染み、幅広い年齢の人と関わることで、自然とご近所づきあいも良くなりますよ!

また、小学6年生対象の「勝沼少年ジャンボリー」や「少年少女ふるさと探険隊」といった野外活動イベントがあります。市内キャンプ場での宿泊体験を通して、中学入学前に同年代の仲間と交流し友達の輪を広げることができ、自然環境を大切にすることが身につきます。また、子どもたち自身でテント設営、火起こしや炊飯をすることによって普段の生活の便利さ、ありがたさを実感し、家族への感謝が深まります。



14歳と12歳と  
10歳と8歳の  
子どもを育て中

澤田 亮子さん



甲州市の子育てに関する情報は  
甲州市HPの「子育て応援団」の  
バナーをクリック!



<https://www.city.koshu.yamanashi.jp/>

【取材場所】9K 舎 甲州市塩山上於曾1861-2



塩山駅前にあるフリースペース&コワーキングスペース。平日を中心に地域に開放されており、雑談やお茶、仕事などさまざまな使い方ができます。営業日はHPやSNSにて確認を。

電話番号 : 0553-34-8780 (営業時間のみ)  
Mail : [kec.enzan@gmail.com](mailto:kec.enzan@gmail.com)  
<https://9ksha.jimdofree.com/>  
Facebook : <https://www.facebook.com/9ksha/>  
Twitter : [https://twitter.com/kec\\_enzan](https://twitter.com/kec_enzan)  
Instagram : [@kec\\_enzan/](https://www.instagram.com/kec_enzan/)

# 甲州市で暮らす

移住してから考えるのが、その後の生活。仕事だけでなく、結婚や出産、子育てなど、さまざまなライフイベントが待ち受けています。この記事では、甲州市移住後に結婚し、現在は2人の子どもを育てている山口祐子さんにお話を伺いました。

山口さんは現在、ご主人の美展さんと2人の男の子の4人暮らし。美展さんも実は東京からの移住者で、2人は甲州市で出会い結婚。ぶどう畑に囲まれた勝沼地域で、夫婦で協力しながら子育てとぶどう作りに奮闘しています。では山口さんのある日の子育てスケジュールと共に見ていきましょう。



## PROFILE 山口祐子さん

香川県出身。大学進学で東京に上京し、マーケティング会社や飲食店に勤務。飲食店勤務中に始めたチョコレートアートがきっかけで、2014年に甲州市の「地域おこし協力隊」として移住。その後、勝沼町の農業生産法人でぶどう栽培の勉強をしていた東京出身の夫と結婚。現在、2人の男の子の子育てをしながら夫婦でぶどうを作っている。また、在宅で観光農園の看板制作や、甲州市に関するウェブ記事のライター業も行っている。

## 山口さんのある日のスケジュール

6:00 起床 子どもたちが自然に起き出します  
 6:30 朝食 みんなでいただきます  
 8:30 長男を保育園に送迎  
 10:00 次男と子育て支援センター「のびのびチビッコ広場」でゆっくり  
 11:30 そのまま「のびのびチビッコ広場」でママ友と昼食  
 12:30 子育て支援センター「あっぷぷぷ」でバランスボール  
 14:00 次男お昼寝 寝ている間に家事

15:00 次男お目覚め おんぶして夕食の準備  
 16:00 次男と遊ぶ  
 17:00 長男を保育園にお迎え  
 18:00 夕食 ワイワイいただきます  
 19:00 お風呂  
 20:00 絵本の読み聞かせ  
 20:30 就寝/子どもが就寝後に看板製作など仕事をするかも



6:30

山口さんの1日は子どもたちと一緒に始まります。朝早く目覚めた時は、子どもからリクエストがあれば近所の南アルプスが眺められる散歩道をお散歩するのが定番なのだそう。

「平日は毎日バタバタ。上の子を保育園に送ってからは、家事を済ませて子育て支援センター・のびのびチビッコ広場へ向かいます。子育てママやスタッフの方とおしゃべりして、子育ての悩み相談や、世間話でストレス解消しています」(山口さん)

お昼は支援センターで持参したお弁当をみんなで食べてリラックス。昼食後は、別の子育て支援センター「あっぷっぷ」で産後ダイエットの運動を行っているそう。

10:00

「子育て支援センターは、利用料無料のところもあり、子どもだけではなくママ達のケアも充実しているので頻りに利用しています」(山口さん)



14:00

帰宅後は次男のお昼寝タイム。その間に、洗濯物を入れたり、夕飯の準備をしたり家事をこなしていく山口さん。長男の保育園のお迎えまでの時間は次男と2人でゆったり過ごします。

17:00

保育園のお迎えは、パパが行くことも。帰宅してから庭で少し遊び、その後みんなで夕飯を食べます。ぶどうの時期にはパパお手製の「ぶどうメニュー」も食卓に並びます。夕食後はお風呂に入り、寝る前には子どもとお気に入りの絵本を読みながら就寝。早く寝る分、朝は早起きです。



ぶどうの最盛期になるとこのスケジュールに農作業が加わります。そんな忙しい日々の中でも子どもたちとの時間を大事にしている山口さん。お休みの日には子どもたちと一緒に地域の公園やお祭りなどに行き、楽しく過ごしています。

「保育園に子どもたちを預けている時間は農作業をしたり、パソコンで仕事をしたりしています。特に夏から秋にかけてはぶどうの出荷が忙しく、毎日があっという間に過ぎていきます。甲州市はお祭りやイベントがとっても多いので、たまにどこに行こうか迷う時もあります」(山口さん)

## 山口さんに聞いた、甲州市での子育てで良かったことや困ったこと。

市内にはたくさんの子育て支援施設があるので、新生児のうちからいろいろな場所にお出かけするのが良かったです。なかでも、毎週金曜日に保健福祉センターで開かれる「ほっとスペース」は新生児を連れて出かけられるところが少ない中、常駐する助産師さんや保健師さんに育児相談ができて助かりました。また、「のびのびチ

ビッコひろば」などの子育て支援施設でも気軽に子育ての相談ができたり、ママ友達と子育てトークで盛り上がり楽しく過ごせます。子育てで困ったことはあまりないのですが、しいて言えば土日にに行ける子育て支援施設が少ないかも。土日に開いている支援施設があると小さな子がいる子育て世代には助かりますね。

甲州市に移住し、ぶどう作りを通して地域の人たちとの関わりが深くなったと実感する山口さん。将来、子どもたちにも地元へ愛着も持って貰えるような子育てをしていきたいと話していました。地域に溶け込み、農業に子育てにと奮闘している山口さんの姿を見て、子どもたちもすくすく育つことでしょう。

### 【取材協力】のびのびチビッコひろば

子育て中の親子同士の交流や、子育てについての相談、援助などを行っている支援施設。年間を通して親子ヨガやスイカ割りなどのイベントを開催。経験豊富なスタッフが常時おり、親子のサポートを行っています。 TEL/FAX : 0553-44-5514 利用料 : 無料



【勝沼のひろば】 甲州市勝沼町下岩崎1002-1 祝ふれあい親子館  
開館日:月～金曜日 開館時間 : 9:00～14:00

【大和のひろば】 甲州市大和町初鹿野1693-1 大和保育センター相談室  
開館日:水曜日 開館時間 : 9:00～15:00

【岩崎のひろば】 甲州市勝沼町下岩崎1731-3  
開館日:不定期 開館時間 : 9:30～13:00

# これで安心、解決！ 甲州市の移住に関する何でも相談。まずはチェック！ 教えて！ 甲州らいふ。

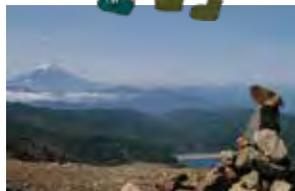
甲州市で暮らしてみたいけど、わからないことがたくさん。そんな疑問や、子育てのこと、住む場所の探し方から仕事のことまで、甲州市に住むための情報をお届けします。



【実際に移住を検討されている方からよく聞かれる質問にお応えします。】

**Q** どのような気候ですか？

**A** 夏暑く冬寒いという盆地特有の寒暖差が大きい気候です。このため、ぶどうなどの果樹栽培が盛んです。年間降水量は少ないですが、夏から秋にかけては雨量が多くなる傾向があります。また年に数回程度の降雪があります。



**Q** 交通機関はどのようなものがありますか？  
マイカーは必要ですか？



**A** JR中央線が市内に3駅あり、塩山駅には特急列車も停車します。その他市民バスや民間バスが市内を運行しています。しかし決して本数は多くありませんので、マイカーがあった方が週末のお出かけや買い物等の利便性は高まります。また降雪があるのでスタッドレスタイヤは必需品です。

**Q** 地域になじむには  
どうすればよいですか？

**A** 地域の住民に対して壁を作らずに接していくことが大切です。甲州市には地域ごとに様々な行事がありますので、それらを理解し積極的に関わることで地域住民と接する機会が増え、繋がりが強まります。

**Q** 移住の相談はどうすれば  
よいですか？

**A** 市では電話やメール等で随時移住相談を受け付けておりますのでお気軽にお問合せください。また定期的に山梨県外で移住相談会を開催しておりますので、ぜひご利用ください。

【まずは移住のステップ(P27)と甲州市の制度(P28~)について知ろう！】

- 住まいのこと → GO to P28
- 仕事のこと → GO to P29

- 子育てのこと → GO to P30
- 生活のこと → GO to P32





# 移住のSTeP

甲州市に移住するまでのステップを確認してみましょう。  
あなただけの甲州市を見つけるための移住の手引きです。



## STeP 1 甲州市に行ってみる。

1

まずは甲州市を訪れてみましょう。

言葉や写真だけでは伝わらない空気感、地域の温かさ、果樹畑が織りなす風景、生活環境、都心部とのアクセス利便性など、実際に感じることであなたに合う場所なのか判断することができます。四季折々の風景やイベントがありますので、訪れる季節を変えてみると、また違った甲州市を発見することができます。

## STeP 2 甲州市について知る。

2

移住はあなたのライフスタイルを大きく変化させます。甲州市はどんなところか、甲州市なら何が出来るのか整理し、そして甲州市へ移住後、自分がどのようなことをしたいのか、どういったものを求めて行くのか、ご家族と十分に話し合って移住に対する考えを共有しておきましょう！ 移住支援ポータルサイト「甲州らいふ」も見てみましょう。移住に関する様々な情報が得られます。

## STeP 3 甲州市に滞在してみる。

3

甲州市移住希望者へお試し移住体験が出来る施設を無料で提供しています。最長7日間滞在することができます。時間に縛られることなくじっくり甲州市に滞在し、仕事や住まい探し、子育て環境確認など、より深く移住後の生活をイメージするために、多くの方にご利用いただいています。また滞在中、移住に関する心配ごとや気になることについて、甲州市移住サポート担当者にじっくり相談することも可能です。

## STeP 4 さあ、移住してみよう！

4

甲州市での生活のスタートです。自然と歴史豊かな果樹園のまち甲州市であなたらしい甲州らいふを。

移住に関する不明点やお困りごとは、お気軽にご相談ください。

甲州市役所 政策秘書課 地域創生推進室 ☎ 0553-32-5037 seisaku@city.koshu.lg.jp

# 住む

移住にあたり、住まいは非常に重要なポイントになってきます。甲州市は塩山地区、勝沼地区、大和地区でそれぞれ生活環境や気候、交通インフラも異なります。ご自身のライフスタイルにあった物件を探すため、スケジュールに余裕をもって移住計画をしましょう。

## ●不動産業者に相談

住まいを探すには、まずは市内の不動産業者にご相談ください。市内には多くの不動産業者があり、住みたい地域の不動産業者を訪れてみれば、インターネットでは得られない掘り出し物件や地域ならではの情報が得られるかもしれません。  
【市内不動産屋マップはこちらのQRコードからアクセス！】



## ●市営住宅

市内には市営住宅等、市が管理する住宅が12か所あります。塩山・勝沼・大和各エリアに点在していますので、お気に入りの地域でお探しいただけます。市営住宅に入居するには要件がありますので、詳しくは市建設課住宅・建築担当までお問合せください。

## ●甲州市 お試し移住施設

甲州市へ移住をお考えの方がお試し移住生活を体験できるよう、市内2か所のお試し移住施設を無料で提供しています。利用日数は3日以上7日以内となっています。ゆっくり甲州市に滞在し、地域の魅力や文化、生活環境を確認いただくとともに、移住後の生活イメージを膨らませてみてください。

※ご利用には事前に申請書等の提出が必要。

## ●土砂災害 ハザードマップ

甲州市は総面積の多くを森林が占めております。移住先の地域にはどのような危険が潜んでいるのか、近くの避難施設はどこにあるかなど、ハザードマップで確認してみてください。  
【甲州市土砂災害ハザードマップにはこちらのQRコードからアクセス！】

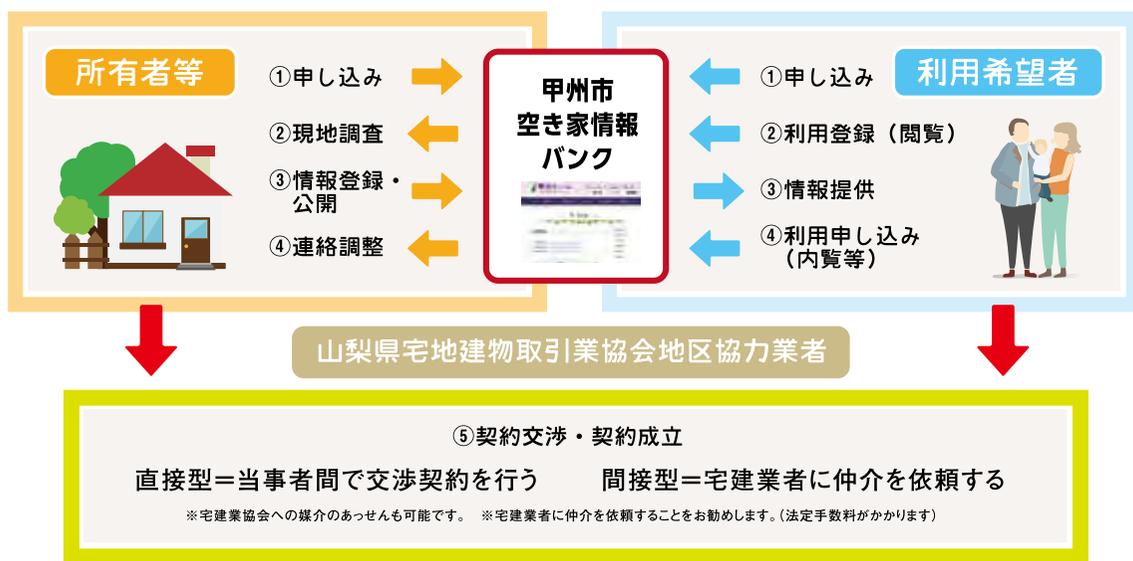


## ●空き家情報バンク

空き家所有者と甲州市暮らしを希望する皆様が出会えるよう、市では空き家情報バンク制度を運営しています。  
【登録物件はこちらのQRコードから確認！】



## 空き家情報バンク登録及び利用の流れ



# 働

# く。

ハローワークサイトで勤務地を甲州市と検索すると、300件以上の求人\*があります。内容は事務職からワインリーまで様々。あなたのやりたい仕事が見つかるはず。ただし東京圏等から移住し転職する場合は、収入が低くなる可能性が高くなります。そのため移住後の資金計画を立てておくことも重要です。

※2019.10月現在の求人数

## ●ハローワーク塩山

仕事を探すならハローワーク！ ハローワーク塩山は、甲州市役所本庁舎近くにありますので、市役所で移住相談をするついでにハローワークで仕事を探すことも可能です。【施設情報】 甲州市塩山上於首 1777-1 ☎ 0553-33-8609

## ●やまなし・しごと・プラザ

ジョブカフェやまなしや子育て就労支援センター、ふるさと山梨定住機構など、山梨県が運営する様々な支援窓口が同じフロアに集まっています。ここに行けば就労だけでなく、移住や子育て、職業訓練に関する情報など、多くの情報が得られます。

【施設情報】 JA 会館 5 階(甲州市飯田 1-1-20) ☎ 0552-33-4150

## ●シェアオフィス甲州

「シェアオフィス甲州」を甲州市役所勝沼支所敷地内に整備し、新しい働き方(テレワークやクラウドソーシング)を推進しています。1階はお試しサテライトオフィスとなっており、都内企業等の甲州市進出への足がかりとなるよう施設提供しています。2階はWi-Fiが整備されたカフェイストの落ち着いたコワーキングスペース空間となっており、時間や場所に捉われない自由な働き方ができます。

【施設情報】 甲州市勝沼町勝沼 756-13

お問い合わせは甲州市政策秘書課 ☎ 0553-32-5037



## ●甲州市就農定着総合支援制度

市内で新たに就農を志す方が自立就農できるよう、優れた技術を持つ農業者(アグリマスター)や地域の農家グループの指導の下で、就農に必要な実践的技術を習得する長期研修の支援を実施しています。

【支援内容】・栽培技術の習得研修 ・農業経営管理手法の習得研修 ・農作物の流通・販売に関する研修 ・その他研修生の自立に必要な研修

※研修の内容により、研修手当 5 万円 / 月や、家賃手当 2 万円 / 月を支給。

## ●空き店舗対策補助金

商店街の活性化と活力あるまちづくりのため、空き店舗を利用した事業者に補助金を交付し、意欲ある新規出店希望者を応援しています！

### ○新規出店支援事業

個人が商店街における空き店舗を小売業、飲食業その他サービス業を営む店舗として新たに出店するために活用する事業への補助。

#### 補助額

1年目に要した経費の1/2以内で

→店舗改修費及び看板等設置費は上限 **50万円**

→店舗棟賃借料は月額上限 **5万円**



※市では商工会や金融機関等と協力し、創業を志す方の資金調達や創業前後のフォローアップ等の支援を行っています。

## ●甲州市移住支援補助金

甲州市への移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消を図るため、東京圏から甲州市に転入し、かつ対象企業へ就業又は山梨県内で起業した方に対し、補助金を交付します。

補助金の額は、単身転入の場合 **60万円**、世帯転入の場合 **100万円**



# 子育て。

甲州市は  
待機児童が

ゼロ!  
0!

産前産後から子供が高校を卒業するまで各種支援や助成制度が充実しており、安心して子育てできる環境があります!



## ●マイ保健師

お住まいの地区ごとに担当の保健師がいます。安心して妊娠／出産／子育てができるよう、マイ保健師が妊娠中から継続的にサポートしていきます。

## ●妊産婦新生児訪問指導

妊娠中1回、新生児期に2回、2ヶ月児に1回、保健師又は助産師の訪問が受けられます。

## ●マタニティクラス

妊娠したけど何をすればいいかわからない。そんな妊娠、出産の悩みを地域の方と一緒に学び、ご夫婦で新しい家族を迎える準備のための講座です。助産師、保健師、栄養士、歯科の先生などから専門的な話も聞けます。予定日の近いママ同士が集まるので、情報交換の場にもなっています。

## ●産前産後のママのほっとスペース

妊婦さんと産後のママが赤ちゃんと一緒に気軽に立ち寄り、ほっと一息つける場所です。ママ同士で情報交換したり、助産師や保健師の専門相談も受けられます。



## ●ママのあんしんテレフォン

赤ちゃんが泣き止まない、妊娠中の腰痛が辛いなど、妊婦さんや産後ママの不安解消のため、担当助産師に電話相談ができます。

## ●ファミリーサポート制度

育児の手助けをしてほしい方と、育児の手助けが出来る方を繋ぐ制度で、仕事や買い物など用事があるときに、「お父さんやお母さんのピンチヒッター」として一時的に子供を預かり、地域ぐるみで子育てを応援しています。

## ●すくすく支援事業

満1歳までのお子様の保護者へ、無料でベビーベッド・シートを、3か月までのお子様の保護者へ、ベビースの貸し出しを行っています。

## ●地域子育て支援センター、子育てサロン

支援センターは市内に6か所あり、未就園児のお子様を持つご家族が自由に集い、お子さんがお友達とおもちゃで遊んだり、保護者の方々が情報交換や育児相談が出来る場所です。絵本会、親子ヨガ、スイカ割など様々なイベントが開催されています。子育てサロンは市内に8か所あり、親子で気軽に楽しめるとともに、助産師や地区の民生委員からの「子育てアドバイス」をもらうこともできます。またベビーマッサージなど様々なイベントが開催されています。

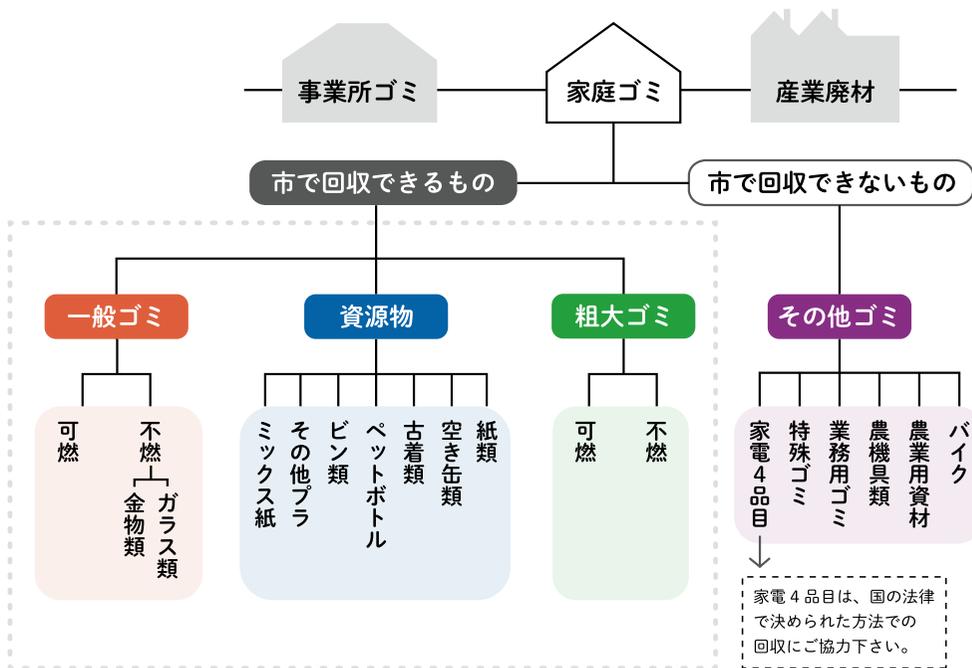


# 生活。

ごみの出し方から、ご近所付き合いまで、甲州市暮らしで知っておいたほうがよい生活の知識。身近な人との関係づくりができると、暮らしがより豊かになることもあります。

## ◎ごみの出し方

家庭ゴミの出し方として、「一般ゴミ」「資源物」「粗大ゴミ」「その他ゴミ」などの分類での排出をお願いしています。



## ◎自治会

地方では、お隣さんと顔が見えるお付き合いが一般的です。市内には、区や組という地域のコミュニティ組織があり、自分たちの住む地域をよりよいものにするため、また行政の手の届かない部分を補うために活動しています。区や組への加入は強制ではありませんが、防災・防犯・ゴミなど地域生活に密着した課題解決のため、また地域を理解するためにもぜひ加入をご検討ください。

## ◎消防団

消防団は、甲州市に居住するまたは勤務する年齢18歳から40歳くらいまでの方(男女問わず)で構成され、地域防災の要として地域に密着し、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、家族や地域住民の安心と安全を守る重要な役割を担っています。しかし近年団員確保が難しくなり地域防災力の低下が懸念されています。甲州市に移住される場合には、自身の地域を守るためにもぜひ加入をご検討ください。

## 移住に関する相談窓口

山梨県や甲州市に移住したい方は、ぜひお気軽に相談窓口をご利用ください。コーディネーターが親身になって、あなたの疑問や不安を解決します。また東京都内にも相談窓口があります。通学・通勤などがあり、都内で相談したい方には非常に便利です。

Tokyo

### ●やまなし暮らし支援センター

東京交通会館 8階(東京都千代田区有楽町 2-10-1)  
☎ 03-6273-4306

### ●やまなし UI ターン就職支援センター

パナグループ本部ビル JOB HUB SQUARE 3階  
地方創生ラウンジ内(東京都千代田区大手町 2-6-2)  
☎ 03-6734-1092

Yamanashi

### ●ふるさと山梨定住機構

JA 会館 5階(甲府市飯田 1-1-20)  
☎ 0552-44-7980

### ●甲州市役所 政策秘書課 地域創生推進室

甲州市塩山上於曾1085-1 ☎ 0553-32-5037  
seisaku@city.koshu.lg.jp



甲州市の歴史を巡る。 vol.01

# 大善寺

甲州市の文化や歴史を紐解けば、信玄公ゆかりの場所やこの土地のルーツに出会える場所がたくさんあります。神社仏閣も多く個性がある場所ばかり。今回紹介するのは、別名「ぶどう寺」とも言われる大善寺。古代三枝氏、鎌倉幕府、甲斐武田氏の庇護を受け、平安時代から江戸時代に及ぶ多くの文化遺産を伝える甲州を代表する寺院のひとつです。ご本尊である薬師如来像が手に持つのはぶどう。甲州葡萄の始まりの地であると伝えられています。また、宿坊（民宿）として、誰でも泊まれるようになっています。山梨の素材を使ったボリュームある家庭料理を提供していて、学生の合宿から甲州市を散策する方々など広く利用されています。

●山梨県甲州市勝沼町勝沼3559 TEL : 0553-44-0027  
拝観時間 : 4月～11月 9:00～16:30 (最終受付16:00)  
12～3月 9:00～16:00 (最終受付15:30)  
<http://katsunuma.ne.jp/~daizenji/>

# KOSHU 甲州 X SNAP! 教えて！甲州市のいいところ！



**奈良さん（甲州市在住）**  
「災害が少なくとても住みやすいところ  
だと思います」



**市川さんファミリー（神奈川県在住）**  
「温泉、道の駅、くだものですね。  
また来たいと思う街です」



**山縣さん（甲州市） 初鹿野さん（山梨市）**  
「甲州市にはいろいろなお店が揃っていて  
買い物にとっても便利です！」



**雨宮颯馬くん（甲州市在住）**  
「お祭りがたくさんあって楽しいところ」



**中村えりさん（甲州市在住）**  
「人とのつながりが深いところですね！」



**上矢なぎささん（甲州市在住）**  
「ふとこが深いところですね」



**矢巻純子さん（甲州市在住）**  
「みんなウェルカムなところがいいですね！」



**永田栄策さん（甲州市在住）**  
「人のあたたかさです」



**広瀬さん親子（笛吹市在住）**  
「フルーツがおいしいところかな？」

甲州市塩山の中心地にある広場「塩むすび」。ここでは毎月第一日曜日に「かつぬま朝市」が開催されています。斜め向かいにある「およっちょいぷらざ七里」では、「塩山朝市」も同時開催されています。今回は「かつぬま朝市」と「塩山朝市」に来ていた人達に『甲州市のいいところ』を教えてくださいました。

PHOTO : 甲州 KULAS



岩淵智子さん（甲州市在住）

「生活に必要なお店がしっかりと揃っていて、とても住みやすいですね！」



大里純さん（埼玉県在住）

「フルーツ王国で果物狩りができる  
ところ！いつか住みたい！」



依田英樹さん（甲斐市在住）

「人があったかいところです」



山田直孝さん（甲州市在住）

「フルーツラインから見下ろす  
夜景は最高ですね！」



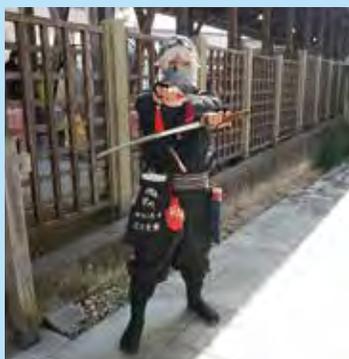
樋口さんファミリー（甲州市在住）

「とにかく夜景がキレイ！」



町田洋美さん（甲州市在住）

「のどかなところ」



甲州おもてなし忍者三ツ者衆 富田勘五郎さん（甲州市在住）

「武田信玄公ゆかりの神社仏閣があるところ  
でござる。恵林寺、放光寺がおすすめです」



三森静江さん（甲州市在住）

「住んでいる人の人柄がいいところ。  
誰でも受け入れる心の広さがあります」



新谷さん（山梨市在住）

「おいしいフルーツがたくさんあるところ」

学生が行く!

大学生の視点で甲州市を歩いて、感じて、伝える

Let's Go!

# ぐるり、甲州旅

～ココロとカラダぽっかぽか！秋冬あったか旅～

4人の学生が文章を書き、写真を撮って、紙面構成・デザインも自分たちで考えて作りました!

今回のぐるり甲州旅は冬でも楽しめる体験スポット、甲州市の風景・ぶどうやワインを楽しんだ後にぜひ寄ってほしいスポットを特集しました。



川崎かな子



鶴田有紀



川村春乃



藤本かおり



ハムカツの中にはトロトロの半熟卵が…!!  
ピンクのポテトサラダはビーツの酢漬けを練りこんだもの。実は野菜が主役なんだそう。



「懐かしき昭和洋食」を楽しめるお店。2019年11月に1周年を迎えた。ハムカツはテイクアウトできるほか、雨上がりのチーズケーキなど店主こだわりの逸品が味わえる。プレートに入っているボリュームいっぱいの野菜は山梨県産を使用している。

## やみつきハムカツ洋食喫茶さはんじ

店主の若林正樹さんは東日本大震災をきっかけに宮城県仙台市から甲州市に移住。過去に大月市の地域おこし協力隊もされていました。地元のことを知ってもらい地域おこしの一環として大和町に店を構えたそうです。さはんじの目の前には国道20号があり、通勤の間に利用するお客さんもいるため「明日への活力になるごはん」を真心こめて提供しています。料理人歴20年以上の若林さんはグラフィックデザインをしていたこともあり、店内のデザインや自家製商品のパッケージがおしゃれで目を奪われるものばかりでした!



ハムカツと一緒に出てきた「旅するだし醤油」は、なんと、さはんじ自家製調味料!他にももろみ辛味噌、おかかのふりかけも作っているそう。



●山梨県甲州市大和町鹿野1652-14  
TEL/0553-31-9075  
営業時間/11:00~18:00  
定休日/火・水曜日

## 道の駅 甲斐大和

カラフルなチーズと甲州市産そば粉を使用した「ウラジローのおやつ」は一見お団子のようにですが、割ってみるとチーズがびよんと伸びます。中身のチーズもひとつずつ色味が違ってこだわりが感じられました!



あたご梨は日本一大きな梨の品種です。重さは大きいもので1.5~2kg。重さに反して、果肉は柔らかく糖度はなんと14度以上!食べたら幸せな気持ちになれそうです。



道の駅自社製造のコンポートは着色料無し。旬の果物を使用しています。フルーツソースやジャムも取り扱っています。

●山梨県甲州市大和町鹿野2248 TEL/0553-48-2571 営業時間/9:00~18:00 (そばの実 11:00~16:00) 定休日/軽食コーナー 農産物加工体験施設▶水曜定休 手打ちそば 処「そばの実」▶木曜日定休

## ハーブ庭園 旅日記



ハーブ庭園では綺麗な花々が見られる以外にキャンドルづくりもできるんです(他にもたくさんのイベントがあります)。アロマの良い匂いがする体験工房での作業はとても癒されます。

ソフトクリーム売り場の目の前には象の像が。そっぽを向く2頭を鶴田がなだめます。後ろの池には綺麗な色の鯉がたくさんいるのですが、人影に反応して物凄いく数が来るのが軽く恐怖でした…。



左から鶴田、藤本、川崎作。カラーチップを入れ終わった後の写真です。この後に70°Cのロウを流し込み、数分待たば完成!お手軽に作れるので時間のない方にもおすすめです。

●山梨県甲州市勝沼町等々力1736 TEL/0553-44-3715 営業時間/9:00~17:30 料金/入園無料 定休日/年中無休 駐車場/無料

## 甲斐の国 大和自然学校



1

ほうとう作りの前に気合いを入れます！とは言えこの時は意外と大変な作業だとは思っていませんでした…。



3

生地がまとまったらねかせます。その間に具材(にんじん、里芋、長ネギ、じゃがいも、しめじ、油揚げ、かぼちゃ、ごぼう)を切ります。

4

めん棒で生地をのばします。縦横交互に！あれ？いつの間にか〇ではなく口に…。



2



ほうとう粉300g、水120ccを入れ、ひたすら混ぜて固めていきます。固まってきたら一つにまとめるように表面がつるつるになるまでこねます。これが以外と大変！生地がポロポロ…全然うまくまとまってくれないのです。

### ●ちょっと豆知識●

山梨では昔、「ほうとうの麺を打たないと一人前でない」と言われ、嫁入り修行の第一歩であった。

5



のばした生地をめん棒に巻きつけ横に包丁をいれます。



6



めん棒から生地を取外し、半分に切り、小指くらいの細さに切ります。

7



完成！



切った麺と具材を 煮込んでできあがり！すごくおいしそうですね？お店レベルの味！！と自画自賛(笑)。

## ベニー (依田由起) さんにインタビュー

Q.人気の体験プログラムは何ですか？

A.カレーやほうとう作り、夏場は竜門峡ハイキングですね。ナイトハイキング、草木染め、キャンプファイヤーも人気です。

Q.自然学校に勤務するなかで、うれしい瞬間を教えてください。

A.プログラムの指導をするなかで子どもたちの成長が見られることです。最初はあいさつや返事ができなかったのに、プログラムを通して返事ができるようになったお子さんがいます。自分の一言によって変わってくれることが嬉しいです。

Q.甲州市の魅力をお教えてください。

A.やっぱりフルーツです。山に囲まれて自然が豊かで、四季がはっきりしていて農業が盛んなところが魅力です。



# 甲州 らいふ

制作メンバー紹介

## 「甲州らいふ♪ つたえ隊」

山梨県立大学の教員、社会連携課、そしてメインで取材をしてくれる学生さんと構成されています。編集会議で甲州市の人や場所のことをみんなで考えて、つたえ隊！として甲州らいふを支えています。

山梨県立大学  
兼清慎一さん

山梨県立大学  
西平隆樹さん

山梨県立大学  
新井美里さん

山梨県立大学2年  
藤本かおりさん

山梨県立大学4年  
川村春乃さん

山梨県立大学4年  
鶴田有紀さん

甲州市移住支援  
ポータルサイトはコチラ！



### 甲州KULAS

山梨県甲州市で暮らすお仕事集団。メンバーは年齢も経歴もバラバラですが、「甲州市に貢献したい」という志は一緒です。今回は子育てページを担当してくれました。

### BEEK

山梨の人や暮らしを伝えるをコンセプトに、デザインや編集、写真などで伝える仕事をしています。甲州らいふではvol.02から関わり、冊子全体を監修しています。

### 甲州市役所 政策秘書課

甲州らいふの発刊元は甲州市役所の政策秘書課です。地域創生や人口対策、空き家バンクなども担当し、移住促進の役割を持つ甲州らいふも今年で6年目を迎えました。



山梨県立大学4年  
川崎かな子さん

甲州KULAS  
三森 望さん

甲州KULAS  
雨宮美輪さん

BEEK  
土屋誠さん

甲州市役所  
宮川陽介さん

甲州市役所  
日原健太郎さん

甲州市役所  
林 正樹さん

甲州市の人や暮らしを伝える

甲州  
らいふ  
koshulife

ご自由にお持ちください

**TAKE FREE**

甲州らいふ Vol.10 発行日：2020年2月1日  
発行元：山梨県甲州市役所 政策秘書課 制作/取材/編集：山梨県立大学  
取材協力：甲州 KULAS デザイン/写真/取材補助：BEEK DESIGN  
【お問い合わせ】山梨県甲州市役所 政策秘書課 ☎ 0553-32-2111 (代)  
<https://www.city.koshu.yamanashi.jp/iju/>